

平成 30 年度 岸和田市男女共同参画推進審議会 第 2 回会議録

内容承認	白出会長 承認		
公開・非公開の別	公開	議事録の形式	要点記録
会議名	岸和田市男女共同参画推進審議会（第 2 回）		
日時	平成 31 年 2 月 21 日（木）午前 10 時～12 時		
場所	岸和田市役所 職員会館 2 階 大会議室		
出席委員	白出会長、松田副会長、池辺委員、齊藤委員、櫻井委員、実川委員、野口委員、 昼馬委員（以上 8 名）		
欠席委員	なし		
事務局	春木市民環境部長、西村人権・男女共同参画課長、松阪担当長、 西川女性センター館長、辻村、東川		
傍聴人数	0 人		
次第	岸和田市男女共同参画推進計画について （平成 30 年度重点項目・推進状況・女性センター事業推進状況） その他（女性センターについて）		
配布資料	① 次第 ② 岸和田市男女共同参画推進計画 平成 30 年度実施計画推進状況 ③ 岸和田市男女共同参画推進計画 平成 30 年度重点項目について ④ 平成 30 年度女性センター事業推進状況 ⑤ 岸和田市男女共同参画推進計画 平成 30 年度実施計画推進状況（記入例） ⑥ デート DV 予防啓発講座報告 ⑦ 女性センターについて ⑧ 岸和田市男女共同参画推進審議会委員名簿		

<議題等>

1. 委員委嘱
2. 委員の紹介
3. 審議会会長・副会長の選出
4. 会長挨拶
5. 議題

岸和田市男女共同参画推進計画について

平成 30 年度重点項目および推進状況、女性センター事業推進状況について

その他

<審議概要>

- 会 長 それでは始めに岸和田市男女共同参画推進計画 平成 30 年度実施計画推進状況について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 (平成 30 年度重点項目(資料 2)岸和田市男女共同参画推進計画 平成 30 年度実施計画推進状況(資料 1)について報告)
- 会 長 平成 30 年度実施計画推進状況について説明がありました。ご意見、ご質問をお願いします。
- 委 員 デートDV 予防啓発出前講座の実施、ありがとうございました。その際、取られたアンケートの内容と結果について教えてください。
- 事務局 事前・事後の 2 種類のアンケートを取っています。事前アンケートでは、デート DV という言葉を知っているかどうかや、ジェンダーの意識等について質問し、その結果を講師が当日フィードバックしながら講座を進めています。事後アンケートでは講座を受けた後どう感じたかを質問しています。デート DV について知らない生徒が多く、「知ることが出来て良かった」「友達に相談されたら聴いてあげたい」「暴力というと身体への暴力だけと思っていたが、スマホやメールのチェックなどもデート DV にあたると知った」という感想が多かったです。先生方に演じてもらう寸劇がわかりやすいととても好評です。来年度も引き続き取り組んでいきたいと考えています。
- 委 員 希望する学校に対してデート DV 予防啓発出前講座を実施しているということですが、学校に希望を募るのではなく、市の教育として市内全中学・高校を対象にすることを望みます。たまたま自分の学校で実施されなかったことで、将来、あの時デート DV 予防啓発出前講座を聴いていれば人生が変わっていたという可能性があると思います。
- 事務局 今回は、年度初めに市内全中学校、市立産業高校に希望調査をしました。しかし、学校としてはこのような特別授業を組むことはスケジュール上とても難しいとの回答をもらっています。夏休み・冬休み前の 1 週間というごく限られた時期しかなく、その時期にデート DV のことだけでなく、人権のことや危険度の高いスマホのことなどいろいろな内容の授業を取り入れたいという意向がありますので、全校からデート DV 予防啓発出前講座の希望をもらえないのが現状です。全校での実施を目標としていますので、特にまだ 1 度もデート DV 予防啓発出前講座を実施していない学校には取り組んでももらいたいと考えています。出前講座以外に、先ほど報告したとおり、人権教育課では男女共生教育ということでデート DV について掲載されたリーフレットを配布しています。今後も引き続き啓発に努めていきたいと考えております。
- 会 長 岸和田市内にある、私立高校、府立高校に働きかけることはできないのでしょうか。
- 事務局 昨年府立久米田高校で実施しました。今年度はまず市立産業高校に働きかけたところ、定時制から希望があり、実施しました。今後、他の学校にも働きかけていきたいと考えております。
- 委 員 市長は育休を取られるのでしょうか。
- 事務局 現在、育休の時期等について検討しているとのことです。
- 委 員 市の男性職員 3 人が育休を取得予定だそうです。割合も出ていますか。
- 事務局 年度末にならないと正確な数値は出ないのですが、現時点では配偶者が出産した男性が 19

人ですので、およそ 15.8%です。

委員 先ほどの事業所への調査報告で岸和田市の育休取得率が 9.8%、全国が 5%ですので、岸和田市の取得率は高いです。何か考えられる要因はありますか。

事務局 今後分析等していく予定ですが、銀行やスーパーなど規模の大きな事業所で就業している方が取得されているようです。

委員 事務職で育休取得した方にインタビューするという事でしたが、個人だけではなく、その人の仕事をどうしていくかなど、周りの方とチームとして推進していく枠組みを取られたと思います。取得したいとって簡単に取れるものではなく、事前の相談が必要不可欠だと思うのです。そのあたりの具体的なことをみなさんにインタビューして全体的なことが見える形にしてもらえると、今後の取得がよりスムーズになるのではと思います。

事務局 一人の方には体験をインタビューしました。育休を取得することになったきっかけや、職場での事前の話し合い、妻からの一言、今後取得する職員へのメッセージなどを今後発行予定の市内情報紙に掲載して、育休取得の浸透を図りたいと考えています。

委員 課長の後押しなどもあったのなら、それも含めてお願いします。

事務局 わかりました。

委員 講座「妻と夫のほどよい関係とは？」に参加できなかったので、どのような内容だったか教えてほしいです。

事務局 この講座はタイトルに DV という言葉を使わず、夫婦の関係性を取り上げたことで参加者が昨年より増えました。夫婦の関係性に悩んでいる方が多いことを実感しています。講師が DV 被害の体験者で、その体験を踏まえて DV 予防啓発の講義があり、その後ワークシートを使って二人組で話し合いの時間を持ちました。コミュニケーションを十分に取ることや、相手への伝え方など、すぐに実践できる方法を学びました。

委員 意思疎通をする、よく話し合うようにということですね。

委員 きしわだ男女共同参画フォーラムにはじめて参加した人が 70%と高い割合を占めていますが、原因をどのように分析していますか。

事務局 今年度は男女共同参画の視点のある子育てや、父親が育児に積極的に関わってもらう事を目的に、子育て世代をターゲットにして開催しました。そのため、はじめて保健センターのパパママ教室の参加者全員にチラシを配布したほか、保育園や子育ての集まりでチラシを配布したり、講師をお願いして講師のメルマガで周知してもらいました。講師のファンの方が市内、市外を問わず参加してくれました。

委員 講師の力があるのかと思いました。

事務局 講師のネームバリューはあると感じました。講師の著書「子育てハッピーアドバイス」シリーズがベストセラーになったのが 10 数年前ですので、その頃著書を読まれて子どもさんが中高生になっている方や、現在乳幼児の子育て中の方と幅広い子育て世代の方に参加いただきました。夫婦での参加も目立ちました。

委員 不妊治療をしている方が多く、かなり高い割合だと聞いていますが、岸和田市ではどうですか。不妊治療では急に「明日通院してください」と言われ、突然休みを取らなければならないと聞いたことがあります。

委員 私の知る限りでは現在 2 名の職員が不妊治療をしています。仕事柄なかなか職場を空ける

ことは難しいのですが、朝1～2時間時間休を取って受診後出勤したり、子どもの下校後に休暇を取るなどして対応しています。

事務局 市役所では不妊治療のための休暇はまだ設けられていないです。1時間単位で取得できる有給休暇でやりくりしていると思われます。理由を実際に上司に伝えることは難しいと思います。このような場合に上司が男性か女性かで言いやすさが違ってくると思われます。

会長 事業所内での休みの取り方や、今年度実施の事業所向けの意識調査結果から何か感じたことがあればお願いします。

委員 福祉施設で、女性職員が多い職場です。現在2名が産休中で、今後2名が取得予定です。皆さん産休後職場復帰の予定で、施設で夜勤のある職場ですので、子どもが小さい間は日勤で働いてもらう配慮をしています。子どもさんに何かあれば、なぜか母親が呼ばれますので、施設に連絡が入ることが多々あります。わりと休みやすい現場であると思っておりますが、人手不足の業界なので、休めるとはいえ、本人は気を遣う状況です。施設としては人員を充足できれば気兼ねなく休める状況になるのではと考えています。

会長 女性の職員は何名ですか。

委員 派遣職員もいますが、直接雇用の職員40名中女性は30名ほどです。非常勤のほとんどが女性です。

委員 学校では子どもが発熱したり、けがをすると家庭に連絡させてもらいます。そのために家庭に緊急連絡カードを配布して連絡する時の順番を決めてもらっています。そうすると父子家庭でない限り、ほぼ100%近くが母親への連絡を1番目に指定しています。2番目は父親や祖父母になっており、家庭や母親には、子どもに何かあった時は一番に母親が知りたい、母親が迎えに行けるようにという意識があるのではと思われます。

委員 我が家は私（父親）です。

委員 「事業所における男女共同参画に関する意識調査結果」の「女性活躍のための取り組み」の中に、項目「女性が働きやすい設備を整備している」とありますが、具体的にどのようなものがあるか、わかれば教えてください。例えば「保育室を常備している」ということはどうですか。

事務局 具体的な回答を求めていなかったなので、把握はできていません。

会長 学校現場のことで質問があります。資料1のP.5市内幼小中の担当者が多数「生きづらさを抱える少女たちへの支援」という研修に参加したと書かれていますが、学校現場でどのような方が男女共生担当者になるのかと、研修で学んだことを学校に持ち帰って、道徳教育や日常生活の子どもたちへの教育にどういう形で活かしていくことを考えておられるのか教えてください。

委員 各学校で多少の違いはあると思いますが、おそらくそれぞれの学校に〇〇部会、△△委員会など教師の部会があります。本校ですと、人権推進委員会の中に男女共生担当という部署を設けていますので、その代表者が会議や研修に出席しています。同様の形で担当者が決まっていると思われます。本校では女性が担当しており、学んだことは学校現場に還元しなければいけませんので、研修資料をプリントして配布したり、回覧して共通認識を持つようにしています。

会長 この男女共生、男女共同、男女平等に関して、小さいうちから子どもたちに教えていくこ

とは性別役割についての偏見を取り除くという点でとても大事だと、以前からこの審議会
で話があったと思いますが、今のお話では先生方の意識を変えることに留まっているよう
に感じられますが、いかがでしょうか。

委員 どの学校もそのような意識はとても進んでいると思われれます。例えば、昔は「～君」「～さん」「～ちゃん」という呼び方でしたが、現在は、性別に関わらず統一した呼称「～さん」を使用しています。また、本校の場合は今年で2年目になりますが、夏の教員研修でLGBTの当事者を招き、研修を受けました。児童の中にも約9%の割合でLGBTが存在すると頭では理解していますが、当事者から直接話を聴く機会を得て、その後、校内研究授業として4～5年生の子どもたちを中心に多様な性があるという授業を実施しました。

委員 最近大学生の性的暴力の被害者がとても多く、相談を受けても対応に苦慮しています。友達同士もありますが、昨今ジャーナリズムを賑わしているように親が子どもをというケースもあり、絶句することがあります。親の問題ですが、どう対応すればよいか悩みます。どんなに私達がDV予防啓発をやったと言っても、大人同士のDVがあるところには子どもへの虐待、性的虐待があると思っただ方がいいのかもしれないと、表裏の関係なのだと、学生や昨今の千葉県野田市の事件などを見ていて思います。1年だけの啓発活動ではなくて、夫婦同士だけではなくて、その裏にひょっとしたら潜んでいる児童虐待のことも考えていかなければいけないという感想を持ちました。ひょっとしたら現場の先生の方が詳しいかもしれません。話せないこともあろうかと察します。

会長 ありがとうございます。引き続いて女性センター事業の推進状況について説明してください。

事務局 (女性センター事業推進状況(資料3)について報告)

会長 女性センター事業推進状況について説明がありました。ご意見、ご質問をお願いします。

委員 資料1の男女共同参画研修N0.10の「こんな支援がほしかった！～女性の視点から防災・避難所運営を考える～」という研修に参加しましたが、そこでショックを受けることがありました。ワークショップ形式の講座で、話し合ったことを発表したのですが、テーマが「もしあなたが高齢者だったらどんな支援を希望するか」「乳幼児を抱えていたら…」「日本語がわからない外国人だったら…」のグループからは女性が2人ずつ出て発表したのに対し、テーマが「あなたが運営委員だったらどういうことに気をつけますか？」の2グループからは女性が出ず、男性2人、男性1人が前に出たのです。子どもとか高齢者というテーマだと当たり前のように女性が前に出て行き、運営委員のグループになると女性が出ていかないことに、女性センターで実施している講座でこんなに男女の意識の差があるのかとショックを受けたのです。女性センターの方もあの結果をどのように考えておられるか聴きたいです。

事務局 今回は5つのグループに分かれて与えられたテーマについて話し合ったのですが、グループの中には男性も女性もおられ、それぞれが自由に意見を出し合っていて、発表についてもどちらかの性に偏ることなく女性、男性両方が担ってくれていました。女性センターとしてはみなさんがそれぞれの立場から様々な思いを出し合って発表してもらうことでよいのではと考えています。

委員 男性が発表することが好ましくないという気持ちは全くないのですが、たまたまにしても

一般的な雑事に関することは女性が出て、全体を仕切ったり管理したりリーダーシップを取る必要があるグループではどういうわけか男性ばかりが発表者として出たことに、今現在の日本社会の在り方が反映されているのではと感じられたのです。

会 長 その他の事項について事務局から説明をお願いします。

事務局 （その他事項 女性センターについて（資料7）説明）

会 長 以上で、事務局からの報告事項は終了しました。少し意見交換をさせていただきたいと思います。資料1（男女共同参画推進計画推進状況）の全体について、前回、委員からのご意見・ご要望を反映して、体裁を変更してもらいました。非常に膨大な情報量になっていますので、一見してわかり易いものにするのは難しいところですが、今後よりよい資料を作っていただくために、ご意見を頂戴したいと思います。何かご意見があればお願いします。

委 員 資料1のP.2ですが、リプロダクティブ/ヘルツ/ライツなど英語はかっこ書きで意味を書いてもらえるとわかりやすいです。最近新聞を読んでいると、よく出てくる英語は「ポピュリズム（大衆迎合主義）」「コーポレートガバナンス（企業統治）」等、かっこ書きで日本語の意味を書いています。

事務局 検討します。

委 員 私は個人的にこの方法がよいと思っています。実務の方は大変だと思いますが、個々にヒアリングをして、実際に何を実施したのかをチェックすることと評価をすることは、大事だと思います。この方法を続けてもらいたいです。

会 長 ありがとうございます。また何かお気づきの点がありましたら、ご一報いただけたらと思います。よろしく願いいたします。他に質問がないようでしたら、これで平成30年度第2回岸和田市男女共同参画推進審議会を終了いたします。委員の皆さま、どうもありがとうございました。

○会議録は事務局で作成し、会長に確認していただきました。